

9月12日には壮行会が開催され、参加青年は、内閣府青年国際交流担当室長から激励を受け、翌13日、韓国に向けて旅立った。

(4) 帰国後研修及び解団式

日本青年韓国派遣団は帰国後、9月28日及び29日に国立青少年センターにおいて、帰国後研修を行った。

この研修は、事業で得た成果の取りまとめ、事後活動の事例紹介等を行い、事後活動への参加及び青少年健全育成活動への理解を促進することを目的として実施するものである。

9月29日には、各自が本事業を振り返るために、評価会を行い、引き続き行われた成果発表で参加青年は韓国で得た成果・体験を発表した。

成果発表会終了後、参加証授与式にて、全参加青年に対し内閣府青年国際交流担当参事官から参加証が授与され、これをもって日本・韓国青年親善交流事業（日本青年韓国派遣）（第31回）の全日程を終了した。

(5) 国際青年交流会議

9月27日、皇太子同妃両殿下の御臨席を賜った「国際青年交流会議」の懇談会には、日本青年韓国派遣団も出席した。

団長等代表者は、国際青年育成交流事業の日本青年及び外国青年の代表者と共に皇太子殿下に御挨拶を申し上げ、親しく御歓談する貴重な機会を賜った。

(6) 事後活動と日本青年国際交流機構

これまで本事業により海外へ派遣された青年は、全国各地に在住しており、各自の所属する地域や職場等において、海外で得た知識や体験をいかして活躍する一方、内閣府が実施する青年国際交流事業に参加した青年たちにより結成された事後活動組織である「日本青年国際交流機構」（略称IYEO）に所属し、その活動の幅を広げている。

主な活動は、外国青年の受入れ、ホームステイの引受け、国・地方公共団体等の青年国際交流事業あるいは青少年健全育成関係事業への協力、海外広報の普及、研究協議会の開催等多岐にわたっている。会員数は、約18,200名（現存会員数約11,300名）に及んでおり、本年度の派遣青年が新会員として、今後、積極的に活動を行うことを期待するものである。

2 韓国青年の招へい

平成29年7月26日から8月9日までの15日間、韓国青年代表団を我が国に招へいした。

一行は、女性家族部青少年活動安全課行政事務官の金団長を始め、副団長、通訳及び団員の合計30名であった。

一行は、東京において、内閣府青年国際交流担当室長への表敬訪問を行うとともに施設視察や「日韓青年親善交流のつどい」（日韓青年による合宿型ディスカッション）を行った。

また、京都府及び島根県を訪問し、地元青年との交流や、産業・文化・教育等の諸施設の視察、ホームステイ等の各種活動を行った。

8月8日には、東京において事業の評価会を行い、全日程を無事終了し、翌9日、帰国の途についた。

